

様式 5. 日本遺伝子細胞治療学会役員等の利益相反自己申告書（記載例）

（算出期間：2024. 8. 1 ~ 2025. 7. 31）

新たに就任した役員等は、1年毎に過去3年分を、その後は毎年過去1年分を申告

一般社団法人 日本遺伝子細胞治療学会理事長 殿

申告者氏名： _____

申告者が企業や営利を目的とした団体に所属する場合、以下のA, Bの申告は不要。最後の申告日、署名のみ記入

所属（機関・部局）・職名： _____

本学会での役職名： 理事 監事 会長 次期会長 委員会委員長・委員

A. 自己申告者自身の申告事項

該当する項目すべてをチェック

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職（アドバイザー・コンサルタント等も含む）の有無と報酬額
（有 ・ 無）

「有」「無」をチェックし、「有」の場合は、該当事項を企業・団体ごとに記入

（1つの企業・団体からの報酬額が年間総額100万円以上のものを記載）

	企業・団体名	役職（役員・顧問など）	金額区分
1	〇〇（株）	役員	①
2			
3			

記入しきれない場合は欄を増やして記入

金額区分：①100万円～500万円未満 ②500万円以上

2. 株の保有と、その株式から得られる利益（有 ・ 無）

（1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載）

	企業名	持ち株数	申告時の株価（株あたり）	金額区分
1	〇〇（株）	〇〇	〇〇円	①
2				

金額区分：①100万円～500万円未満 ②500万円以上

3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬（有 ・ 無）

（1つの特許使用料が年間総額100万円以上のものを記載）

	企業・団体名	特許名	金額区分
1	〇〇（株）	〇〇の開発	①
2			

金額区分：①100万円～500万円未満 ②500万円以上

4. 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席（発表、座長・司会等）に対し、拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演・座長・司会料等）（有 ・ 無）

（1つの企業・団体からの講演料が年間総額50万円以上のものを記載）

	企業・団体名	金額区分
1	〇〇（株）	①
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

金額区分：①50万円～200万円未満 ②200万円以上

5. 企業や営利を目的とした団体が支払った原稿料 (有 ・ 無)

(1つの企業・団体からの原稿料が年間総額 50 万円以上のものを記載)

	企業・団体名	金額区分
1	〇〇 (株)	①
2		

金額区分：①50 万円～200 万円未満 ②200 万円以上

6. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費・研究員等の雇用費 (有 ・ 無)

(1つの企業・団体から支払われた直接経費の総額が年間 100 万円以上のものを記載)

	企業・団体名	研究費区分	金額区分
1	〇〇 (株)	②	①
2			
3			
4			
5			
6			

研究費区分：①共同研究費 ②受託研究費 ③治験費 ④研究助成金 ⑤研究員等の雇用費 ⑥その他

金額区分：①100 万円～1000 万円未満 ②1000 万円以上

7. 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学 (奨励) 寄附金 (有 ・ 無)

(1つの企業・団体から申告者個人、申告者の所属する部局、あるいは代表者に支払われた直接経費の総額が 100 万円以上のものを記載)

	企業・団体名	金額区分
1	〇〇 (株)	②
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

金額区分：①100 万円～1000 万円未満 ②1000 万円以上

8. 企業などが提供する寄附講座 (有 ・ 無)

(申告者が寄附講座に所属している場合に記載)

	企業・団体名	寄附講座の名称	設置期間
1	〇〇 (株)	〇〇講座	〇〇～〇〇
2			

9. 企業や営利を目的とした団体が支払ったその他の報酬 (研究とは直接に関係しない旅行、贈答品等)

(有 ・ 無)

(1つの企業・団体から受けた報酬が年間 5 万円以上のものを記載)

	企業・団体名	報酬内容	金額区分
1	〇〇 (株)	贈答品	③
2			
3			

金額区分：①5 万円～20 万円未満 ②20 万円以上

B. 申告者の配偶者、一親等親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

該当する方の口にしをお付けください。

すべて申告事項無し：こちらにしをお付けの場合は下記項目の記入は必要ございません。

申告事項有り：下記の該当項目にご記入ください。

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職（アドバイザー・コンサルタント等も含む）の有無と報酬額
有 ・ 無

（1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載）

	該当者氏名		申告者との関係	
	企業・団体名	持ち株数	役職（役員・顧問など）	金額区分
1	△△ △△		配偶者	
	△△（株）		顧問	①
2				

金額区分：①100万円～500万円未満 ②500万円以上

2. 株の保有と、その株式から得られる利益（1年間の本株式による利益） 有 ・ 無

（1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載）

	該当者氏名		申告者との関係	
	企業名	持ち株数	申告時の株値（一株あたり）	金額区分
1	△△ △△		配偶者	
	△△（株）	△△	△△円	①
2				

金額区分：①100万円～500万円未満 ②500万円以上

3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 有 ・ 無

（1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載）

	該当者氏名		申告者との関係	
	企業・団体名	特許名		金額区分
1	△△ △△		配偶者	
	△△（株）	△△の開発		①
2				

金額区分：①100万円～500万円未満 ②500万円以上

4. 企業や営利を目的とした団体が支払ったその他の報酬（研究とは直接関係しない旅行、贈答品等）

有 ・ 無

（1つの企業・団体から受けた報酬が年間5万円以上のものを記載）

	企業・団体名	報酬内容	金額区分
1	△△（株）	贈答品	①
2			

金額区分：①5万円～20万円未満 ②20万円以上

誓約：私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本遺伝子細胞治療学会での職務遂行上で妨げとなる、これ以外の利益相反状態は一切ありません。上記の利益相反自己申告書の内容を十分に考慮し、社会的疑念を招くことなく日本遺伝子細胞治療学会の職務を遂行します。なお、本申告書の内容は、社会的・道義的な観点から要請があった場合は、公開することを承認します。

申告日（西暦） 年 月 日

自筆

申告者署名